

平成29年度 初期支援チーム（先遣隊）研修会 開催要綱

1 目的 平成28年度相次いで道内を襲った台風による災害では、南富良野町、新得町、清水町、芽室町に災害ボランティアセンターが設置され被災者支援活動が展開されました。日常生活や地域生活の再建を一日も早くするためには災害発生直後からの初動期における支援体制の構築を円滑に進めることが重要です。
本研修では、災害発生時の状況把握を迅速に行い、被災者支援に向けた災害ボランティアセンターの体制構築を支援する「初期支援チーム（通称：先遣隊）」への参画が期待される人材を養成することを目的に開催します。

2 主催 北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）

3 と き 平成29年12月1日（金）

4 と ころ 札幌市：北海道第二水産ビル 8AB会議室

5 参加対象 ※下記①・②を満たす社協職員、行政職員（危機管理及び災害時ボランティア受け入れ計画担当、要配慮者支援担当者など）、災害ボランティアネットワーク会議参加団体の構成員等
①北海道災害ボランティアセンターの依頼により災害発生時に初期支援チーム（先遣隊）派遣の任につける者
②平成29年度災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修受講者
③災害救援活動の支援に関する協定締結済み社協（※市町村社協のみ）
※本研修受講者を災害発生時に被災地域に強制的に派遣させるものではありません。

6 参加経費 無料

7 定 員 100名

8 日 程

9:45 10:20 10:30 11:00 12:30 13:30 16:30 17:15 17:30

(1) 受付	(2) 開会	(3) 基調説明	(4) 講義	休憩	(5) 演習	(6) まとめ	閉会
-----------	-----------	-------------	-----------	----	-----------	------------	----

9 内 容

(1) 受付 (9:45～10:20)

(2) 開会 (10:20～10:30)

(3) 基調説明 (10:30~11:00)

「本研修の意図と初期支援チーム（先遣隊）への期待」

【担当】北海道災害ボランティアセンター

- ・本研修の意図と受講後に期待される初期支援チームの役割について説明します。

(4) 講義 (11:00~12:30)

「初期支援チーム（先遣隊）による支援の視点」

【講師】 栗原 英文 氏 (コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表)

- ・初期支援チーム(先遣隊)には、現地の被害状況の把握、現地行政対策本部との連携、現地災害ボランティアセンターの立ち上げ支援・初動支援等が求められます。本講義では災害発生時における支援の準備時から支援が終息を迎えるまでの展開と復興後の地域を見据えた初期支援のあり方を学びます。

(5) 演習 (13:30~16:30)

「災害発生時における初期支援チーム（先遣隊）の具体的な行動」

【講師】 栗原 英文 氏 (コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表)

篠原 辰二 氏 (一般社団法人 Wellbe Design 理事長)

- ・本研修受講後の具体的な活動の展開について主催者より説明し、それら求められる活動を円滑に展開するための具体的な行動と被災地に赴任した際の活動について、演習を通して学びます。

(6) まとめ (16:30~17:15)

10 講師

栗原 英文 氏

コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン (C4C) 代表

1964年福岡県生まれ。東京農業大学卒業後、NGO職員、兵庫県社会福祉協議会主事、神戸・阪神NPOコンソーシアム事務局長等を経て、現在、FEEL Doでは、地域を良くする活動のサポーターとして、地域の様々な人たちが協力して、住民一人ひとりが、元気に笑顔で成長できる地域づくり、暮らしづくりを応援している。また、C4Cでは、フィリピンやタイ、日本(宮城県)、カンボジアの現地NGO/NPOと協働し、子どもたちが元気で幸せに成長することができる地域社会づくりを進めている。

災害時の支援活動においては、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(略称:支援P)幹事として、災害ボランティアセンター運営の支援にあたり、広島土砂災害以降は被災した要配慮者支援活動に力を注いでいる。

篠原 辰二 氏

一般社団法人 Wellbe Design 理事長

1976年北海道伊達市生まれ。道都大学社会福祉学部在学中はNGO活動を通し発展途上国における支援活動を行い、卒業後は紋別市及び新ひだか町において計14年間、社会福祉協議会職員として勤務。地域の特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりに関する各種の事業を展開するほか、地域福祉活動の担い手育成やコミュニティ・ソーシャル・ワーカー等の対人援助職に対する人材育成事業を展開。

大規模災害発生時には、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（略称：支援P）からの要請に基づき、災害ボランティアセンター運営の支援に当たり、過去、中国・九州北部豪雨災害（2009）、東日本大震災（2011）、越谷市竜巻災害（2012）、広島県大雨災害（2014）、熊本地震（2016）、北海道台風10号災害（2016）において活動している。社会福祉士。防災士。

11 参加申し込み

別紙「参加申込書」及び「エントリー時チェックリスト」を 11月20日（月）までに本会あてFAXにてお申し込みください。

なお、参加申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理のみに利用させていただきます。（配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載いたします。）

12 その他

- (1) 研修中に使用するため、名刺を必ずご持参ください（100枚程度）。
- (2) 宿泊が必要な方については、各自にて御手配ください。
- (3) 昼食のお弁当につきまして、600円（税込）にて斡旋いたしますので、必要な方は、参加申込の際に併せてお申し込みください。（領収書はお弁当業者発行のものになります。）

13 申し込み、問い合わせ先

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課
北海道災害ボランティアセンター（担当：山崎・山口）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる 2.7
TEL 011-271-0683 / FAX 011-271-3956

14 研修会場周辺図・交通アクセス

